



# 春を告げる黄色い花たち



自然に恵まれた日野郡。長い雪の季節が終わり、「春を待ちわびていたかい？さあ春が来たよ！」という春の鼓動が伝わってきそうな黄色の花々が一気に開きはじめます。

早春の青空に良く映えそうな、春を告げる黄色の花をご紹介します。



ミチノクフクジュソウ

鳥取県：絶滅危惧1類  
環境省：準絶滅危惧

日当たりの良い広葉樹林下や原野に生育する多年生草本。3月に花弁12～15枚の花を咲かせます。日が当たっていると開き、陰ると閉じてしまいます。福寿草は縁起物として古くから栽培されてきたようです。元日草(かんじつそう)や朔日草(ついたちそう)という別名があるようです。

鳥取県：その他重要種  
環境省：準絶滅危惧

早春に「まず咲く」「真っ先」が変化したものが和名の由来と言われています。花弁は黄色いリボン状で萼片(がくへん)は黄色いのです。よく似たマルバマンサクの萼片(がくへん)は赤いので、区別しやすいです。たくさんの花を付ければ、豊年満作になると言われています。



アテツマンサク

日野郡には希少な植物がたくさんあります。雪の中でも晴れ間を見て出かけてみませんか？春を伝える花々にきっと出会えることでしょう。枝を折ったり、掘ったりしないで見守っていただきますようお願いいたします。

合言葉は「とっていいのは写真だけ」

日野郡振興局 地域振興課 電話：0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

## 日野川フォトコンテスト2021 グランプリ決定!!

～私が好きな日野川～

主催：日野川の源流と流域を守る会

日野川の源流と流域を守る会では、日野川の自然、山、森、里山の風景、流域の人々の生活文化などを題材に、フォトコンテスト2021を開催いたしました。一般部門、スマホ部門共に多くの応募をいただいた中から、厳正な審査の結果、入賞作品が決定しました。その中から両部門の最優秀作品であるグランプリを御紹介します。

- 募集期間：2021年5月25日(火)～11月7日(日)
- 応募件数：一般部門15点、スマホ部門16点

※その他の入賞作品は、当会のHP(<https://www.pref.tottori.lg.jp/299220.htm>)をご覧ください。



一般部門  
グランプリ

「ふたつの川」  
日野川 藤野さん



スマホ部門  
グランプリ

「よいいドン」  
沖山 希子さん

日野川の源流と流域を守る会は、日野川の源流と流域の自然を守り、日野川を日本一美しい川にすることを目的として平成14年に設立されました。**会員募集を随時しています。**お申し込み方法等につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

日野川の源流と流域を守る会事務局(日野郡振興局 地域振興課内) 電話：0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

日野郡で  
輝く人

「Amane」(あまね)  
古川 美穂さん(日野郡江府町江尾)



「分岐点がたくさんあるのが自由だと思っている人が多いが、目の前の一本道を太くして行って、その中を自由に歩くのが本当の自由だ」と言っていた親の言葉の意味が、最近わかるようになりました。

記念日などのおしゃれなプレゼントとして人気の高いアイシングクッキー。クッキーの上に、粉砂糖と卵白を練って色付けしたアイシングで、絵やメッセージを書いて贈ることができることから、幅広い年代の方に喜ばれています。江府町江尾の古川美穂さんは、令和元年10月1日、このアイシングクッキーの工房「Amane」を立ち上げました。

古川さんの実家は、350年近くの歴史を持つ佛日山東祥寺(江府町江尾)で、自然とお経が耳に入る環境で育ちました。大学卒業後、大阪で管理栄養士として勤務しながらも、いつかは故郷に戻り地域のために働きたいと考えていた古川さんは、6年前にUターン。介護老人保健施設で働く傍ら、自己達成感を感じながら楽しく生活したいと、アイシングクッキーを独学で作り始めました。インスタグラムで注文を受け付けたところ、当初は週1～2件だった注文が、県外のお客様を中心に徐々に評判が高まり、3年ほど前に江府町江尾の民家を借りて「Amane」として本格的に工房を立ち上げるほどに。また、アイシングクッキー教室を主宰し、今では県内外からひと月に40件ほどの注文が来るまでに成長しました。「Amane」とは、自分の積んだ功徳を全ての人に行き渡らせるための、仏教の回向文(えこうもん)の中の言葉、「願わくば此の功徳を以て普く(あまねく)一切に及ぼし」の中から取ったそうです。分け隔てなく、全ての方に、という思いが伝わります。

古川さん「アイシングクッキーでみんなに喜んでもらいたいと思います。将来は、誰もが立ち寄ることができるカフェを、この故郷に作ることを目標です。」

日野郡振興局 地域振興課 電話：0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



「普く(あまねく)」という言葉、平等という意味が込められていて、よい響きです。



お祝いや発表会などのメッセージがよく伝わるデザイン。

## 新型コロナウイルス感染症



オミクロン株対策やワクチン接種など、正しい知識に基づいて行動しましょう!

教えてくださるのは 鳥取大学医学部副学部長 ウイルス学分野 景山誠二教授 です。

- ◎ 年明けから県内でも感染拡大したオミクロン株の特徴を教えてください。
- ④ アルファ株やデルタ株と比べ、ウイルス量が短期間で増え、感染を広げやすいという特徴があります。オミクロン株は、感染してから2～3日で鼻水や咳など風邪に似た症状が出るのが多く、感染してから短期間で鼻や喉などを中心にウイルス量が増えたと考えられており、感染を広げやすいという特性を持ちます。感染者が増えることで医療が逼迫し、コロナ以外の病気やケガの方が適切な医療を受けられなくなることが大きな問題です。



- ◎ オミクロン株に対し、これまでのワクチンは有効ですか。
- ④ ワクチン2回接種済の方でも、ブレイクスルー感染が多くみられましたが、重症化が防げます。

オミクロン株の登場により、ワクチンで得られた抗体をすり抜けるブレイクスルー感染が全国的に多くみられ、2回接種では十分な抗体価が得られないことがわかりました。ただ、2回のワクチンで、重症化を抑える効果が残っているため、さらに、ブースター(3回目)接種することで十分な抗体価が得られ、オミクロン株感染予防への高い効果がみられます。みなさんには、3回のワクチン接種について、積極的に検討していただきたいと思っております。

- ◎ オミクロン株への対策として、私たちがすべきことは何でしょうか。
- ④ 風邪症状が出たら早めに医療機関に相談しましょう。風邪のような症状は、オミクロン株の特徴です。かかりつけ医に電話で相談し、早期受診、早期検査を心掛けましょう。また、基本的な感染対策として不織布マスクは極めて有効ですので、正しいマスク着用などの感染予防習慣は続けてください。

- ◎ アフターコロナ、ウイズコロナと呼ばれる、新しい生活はどのようなものになると予想されますか。
- ④ 手軽に検査ができ、治療薬が広く普及すれば、新型コロナウイルスとの共存も可能だと思います。抗原定性検査キットがいつでも薬局等で購入でき、自宅でも手軽に検査できるようになれば、早期受診に結び付けることができます。これからは、新型コロナウイルスに対する免疫機能を維持しながら、共存の道を探っていくことになるかと予想しています。

新型コロナウイルス感染症に関する情報には様々なものがありますが、不確かな情報に惑わされず、県や町などの行政機関が発する正しい情報に基づき行動しましょう。

日野郡振興局 地域振興課 電話：0859-72-2086 FAX:0859-72-2072